

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 三菱製紙株式会社

上場取引所 東

 コード番号 3864 URL <http://www.mpm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 邦夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 首藤 正樹

TEL 03-5600-1407

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	153,087	1.4	△827	—	△652	—	164	△91.0
25年3月期第3四半期	150,937	6.3	2,983	—	2,575	—	1,813	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,670百万円 (14.6%) 25年3月期第3四半期 1,457百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	0.48	—
25年3月期第3四半期	5.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	271,217	56,861	19.9
25年3月期	265,234	55,370	19.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 53,849百万円 25年3月期 52,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	4.6	200	△94.0	0	△100.0	100	△94.2	0.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	342,584,332 株	25年3月期	342,584,332 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	679,854 株	25年3月期	658,609 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	341,915,051 株	25年3月期3Q	341,936,175 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 4
3. 四半期連結財務諸表	P 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 7
四半期連結損益計算書	P 7
四半期連結包括利益計算書	P 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 9
（継続企業の前提に関する注記）	P 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	P 9
（セグメント情報等）	P 9
（重要な後発事象）	P 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く環境は、洋紙の需要構造をはじめ当初の想定より著しく変化してきていることから、平成25年11月に中期経営計画の戦略等の見直しをおこない、新たなテーマとして「海外市場への踏み込み強化」、「ノンコモディティ化の推進」、「成長商品のニッチマーケットへの資源投入」、「八戸工場構造改革の断行」を取り上げ、今後の成長に向けた収益基盤強化の取り組みを開始いたしました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の業績は、紙・パルプ事業につきましては、価格重視の販売政策により印刷用紙の販売が減少いたしましたものの、欧州子会社における円安の影響もあり、販売金額は増加いたしました。

イメージング事業につきましては、写真感光材料の海外市場競争激化による販売数量の減少がありましたものの、円安の影響等により販売金額は増加いたしました。

機能材事業につきましては、不織布の水処理膜用支持体や、カーエアコン向け・家電向けフィルターの増販等により、販売金額は増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は1,530億8千7百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。損益面では、工場の生産性向上や固定費削減によるコストダウン効果等の増益要因がありましたものの、円安による原燃料価格の高騰、洋紙の価格安・数量減少等の影響が大きく、6億5千2百万円の連結経常損失（前年同四半期は連結経常利益25億7千5百万円）となりました。純利益段階につきましては、中川工場跡地の損害賠償請求訴訟に関する和解金の特別損失への計上等がありましたものの、投資有価証券売却益の特別利益への計上等により、1億6千4百万円の連結四半期純利益となりました。

○紙・パルプ事業

主力製品である印刷用紙につきましては、前期における国内市況の大幅な下落、また、為替の円安傾向の継続等による原燃料価格の高騰を受け、今期、春と秋の2度にわたり価格修正を実施いたしました。販売数量・金額とも減少いたしました。

欧州子会社におきましては、主要市場であるヨーロッパでノーカーボン紙及び感熱紙の販売数量は減少いたしました。円安の影響により販売金額は増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の紙・パルプ事業の売上高は1,191億2百万円となり、前年同四半期に比べ3億6千1百万円増加いたしました。20億3千6百万円の営業損失（前年同四半期は営業利益22億5百万円）となりました。

○イメージング事業

国内市場におきましては、写真感光材料や印刷製版材料が堅調に推移いたしました。インクジェット用紙の需要が低迷し、販売金額は減少いたしました。

海外市場におきましては、インクジェット用紙を中心に販売強化を進めましたが、写真感光材料の競争激化による市場環境の急激な悪化の影響を受け、販売金額は減少いたしました。

米国子会社につきましては、販売数量は前年並となりました。円安の影響により販売金額は増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のイメージング事業の売上高は308億9千5百万円となり、前年同四半期に比べ7億7百万円増加し、営業利益は7億5百万円と、前年同四半期に比べ3億6千6百万円増加いたしました。

○機能材事業

不織布につきましては、水処理膜用支持体をはじめとする主要製品の販売が伸び、フィルターにつきましては、カーエアコンや家電向けの拡販の結果、それぞれ販売金額は増加いたしました。

リライト商品につきましては、海外向けは増加いたしましたものの、国内需要が減少し、販売金額は減少いたしました。

KJ特殊紙株式会社につきましては、化粧板原紙、壁紙原紙の増販等により、販売金額は増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の機能材事業の売上高は117億7千2百万円となり、前年同四半期に比べ13億2千7百万円増加いたしました。営業利益は1億7千9百万円と、前年同四半期に比べ6千5百万円減少いたしました。

○その他

その他につきましては、工務関連子会社、倉庫・運送関連子会社の売上高減少等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は118億6千3百万円となり、前年同四半期に比べ6億6千万円減少いたしました。営業利益は2億7千8百万円と、前年同四半期に比べ4千7百万円増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加等により前連結会計年度末に比べ59億8千3百万円増加し、2,712億1千7百万円となりました。

負債は、借入金は減少いたしましたものの、コマーシャル・ペーパーの増加等により前連結会計年度末に比べ44億9千2百万円増加し、2,143億5千6百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の増加等により前連結会計年度末に比べ14億9千万円増加し、568億6千1百万円となりました。

自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント増加し、19.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計基準等の改正に伴う会計方針の変更)

一部の在外連結子会社において、改訂後の I A S 第19号「従業員給付」（平成23年6月16日改訂）を平成25年1月1日以後開始する連結会計年度から適用しており、未認識数理計算上の差異等の処理方法及び表示方法の変更等を行っております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

なお、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度における当該遡及適用による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,337	11,393
受取手形及び売掛金	46,646	48,419
商品及び製品	32,976	32,592
仕掛品	7,922	8,254
原材料及び貯蔵品	11,482	11,403
その他	5,348	7,180
貸倒引当金	△392	△374
流動資産合計	109,321	118,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,411	31,919
機械装置及び運搬具(純額)	66,051	64,584
土地	22,626	22,948
建設仮勘定	1,639	956
その他(純額)	3,388	3,464
有形固定資産合計	126,117	123,874
無形固定資産		
その他	458	364
無形固定資産合計	458	364
投資その他の資産		
投資有価証券	25,116	23,857
その他	5,297	5,315
貸倒引当金	△1,076	△1,062
投資その他の資産合計	29,337	28,109
固定資産合計	155,913	152,348
資産合計	265,234	271,217

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,792	27,465
短期借入金	74,661	86,362
コマーシャル・ペーパー	—	6,000
未払法人税等	264	292
その他	15,245	14,989
流動負債合計	116,962	135,108
固定負債		
長期借入金	79,998	65,435
退職給付引当金	8,473	9,020
厚生年金基金解散損失引当金	101	93
その他	4,326	4,698
固定負債合計	92,901	79,248
負債合計	209,864	214,356
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,756	32,756
資本剰余金	7,523	7,523
利益剰余金	8,883	9,047
自己株式	△138	△140
株主資本合計	49,024	49,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,775	4,462
為替換算調整勘定	626	1,172
在外子会社の退職給付債務調整額	△897	△972
その他の包括利益累計額合計	3,504	4,662
少数株主持分	2,841	3,011
純資産合計	55,370	56,861
負債純資産合計	265,234	271,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	150,937	153,087
売上原価	126,157	132,202
売上総利益	24,779	20,885
販売費及び一般管理費	21,795	21,712
営業利益又は営業損失(△)	2,983	△827
営業外収益		
受取利息	40	52
受取配当金	541	512
受取保険金	33	300
為替差益	376	788
その他	816	591
営業外収益合計	1,808	2,246
営業外費用		
支払利息	1,995	1,862
その他	220	209
営業外費用合計	2,216	2,071
経常利益又は経常損失(△)	2,575	△652
特別利益		
固定資産処分益	2	38
負ののれん発生益	33	151
投資有価証券売却益	763	2,682
補助金収入	236	852
その他	9	61
特別利益合計	1,045	3,787
特別損失		
固定資産処分損	213	217
特別退職金	21	3
移転関連費用	174	—
訴訟和解金等	—	2,027
その他	111	48
特別損失合計	521	2,297
税金等調整前四半期純利益	3,099	838
法人税等	1,193	553
少数株主損益調整前四半期純利益	1,906	285
少数株主利益	92	121
四半期純利益	1,813	164

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,906	285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△429	882
為替換算調整勘定	△14	495
在外子会社の退職給付債務調整額	—	△91
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	99
その他の包括利益合計	△448	1,385
四半期包括利益	1,457	1,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,358	1,322
少数株主に係る四半期包括利益	98	348

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙・パルプ 事業	イメージ ング事業	機能材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	115,886	21,580	8,441	145,907	5,029	150,937	—	150,937
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,854	8,608	2,003	13,467	7,494	20,961	△20,961	—
計	118,741	30,188	10,444	159,375	12,523	171,899	△20,961	150,937
セグメント利益	2,205	339	244	2,789	231	3,020	△36	2,983

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫・運輸関連業、エンジニアリング業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△36百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△20百万円、セグメント間取引消去△15百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙・パルプ 事業	イメージ ング事業	機能材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	116,358	22,224	9,564	148,147	4,939	153,087	—	153,087
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,744	8,671	2,208	13,624	6,923	20,547	△20,547	—
計	119,102	30,895	11,772	161,771	11,863	173,634	△20,547	153,087
セグメント利益 又は損失(△)	△2,036	705	179	△1,152	278	△873	46	△827

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫・運輸関連業、エンジニアリング業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額46百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△18百万円、セグメント間取引消去64百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。